



## 8 | 25 24時間テレビ協賛 そば同好会がチャリティー募金所開設

24時間テレビの放送に合わせて、新十津川手打ちそば同好会（渡辺清会長）がJ・Aピネ本所前に募金所を開設し、手打ちそばの販売を通じてチャリティー活動に取り組みました。

このイベントは手打ちそばを格安で販売し、その収益金のすべてを募金する取り組みで、今年で9回目。25日の午後2時から翌26日の午後7時30分までの約30時間、会員が交代で店番に立ち、夜通しそばを販売しました。

天候に恵まれたこともあって2日間の来場者は800人を超え、募金額は手打ちそばの販売収益金と募金箱を合わせて20万円以上になりました。

## 8 | 20 123年前と1年前の犠牲者偲ぶ 母村で水害慰霊祭

奈良県十津川村の21世紀の森・紀伊半島森林植物公園で水害慰霊祭が行われ、本町からは長谷川町議会議長や佐川副町長ら7人が参列しました。

この慰霊祭は、もともと明治22年の大水害で亡くなった方に哀悼の意を捧げるために行われてきたもの。今年には水害慰霊碑の隣にもう1つ碑を設け、昨年9月の台風12号災害で命を落とした7人の冥福を祈りました。

参列者は、尊い犠牲を忘れることなく、復興の歩みを着実に進めていくことを誓いました。





## 8 | 30 いつまでも健康で 第16回長寿を祝う会

改善センターで長寿を祝う会が開催され、喜寿と米寿以上の高齢者335人が出席して親睦を深めました。

開会にあたり植田町長は「今や人生90年と言われていています。培ってきた経験を基に、これからも大いに社会に貢献していただきたいです」とお祝いの言葉を述べました。

また、慶祝者を代表して、菊水区の光成勇さんは「これまでは生きがいのあるふるさとづくりに精進してきました。これからは死にがいのあるふるさととなるよう、与えられた命のある限り務めを果たしたいと思います」とお礼を述べました。

## 8 | 4 かぜのびに新顔登場

吉野地区のアートの森「かぜのび」に、アメリカの芸術家イームズ・デミトリアスさんの作品が設置され、除幕式が行われました。

この作品は、イームズさんが創作した物語をプレートに刻んで世界中に設置するカイメリカ・プロジェクトによるもの。日本への設置はこれが初めてです。

全世界で87枚目の作品設置にイームズさんは「物語を読めば、皆さんの地域でも同じようなことがあることに気付くでしょう」と話していました。



## 8 | 3 気・剣・体 若人前に模範演技

第33回北海道中学校剣道大会がスポーツセンターで開かれ、開会式で上家國義さんと後木祥一さん（ともに教士七段）が、少年剣士250人を前に日本剣道形を披露しました。

上家さんは「大きな大会で形を披露するのは2回目ですが緊張しました。1本1本に古流の極意が凝縮されているのです。中学生には、これら10本に目標とすべきことが収められていると感じ取ってほしいです」と話していました。

